

2)「海に見える交流館」

設計者及び運営事業者の決定について

「海に見える交流館」

【運営者】 2025年3月10日決定(旅工舎&幸正丸)

全国公募し、審査委員会の審査を経て決定しました。

【設計者】 2025年3月29日決定((株)河内建築設計事務所)

全国設計コンペを行い、94者の設計提案がありました。一次審査において、5作品が決定し、公開プレゼン及びヒアリングを行った後、審査委員会の審査を経て決定しました。

「海に見える交流館」設計者及び運営事業者の決定について

『海に見える交流館』の設計者と運営事業者を紹介します。



海に見える交流館の設計は、隠岐の島町と旅工舎&幸正丸と河内建築設計事務所が一緒になって進めます。

(株)河内建築設計事務所
設計者 河内一泰 代表



だれもが立ち寄れる大きな
屋根をかけた軒下広場な
ど、多世代が交流できる場
所をつくります。

●『海に見える交流館』イメージ



交流館の1階は飲食を中心とした空間で、軒下の広場も生かして利用者が楽しむ場を提供します。2階は、多世代が海を見ながら交流できる空間とします。

海に見える交流館の設計は、町民の意見を聞きながら、運営者と隠岐の島町で進めます。



八幡洋公代表



1階運営事業者

旅工舎&幸正丸



隠岐の食材を使った食事の提供と特産品の販売を行います。
軒下広場も活用し、集いの場に！

飲食店の営業について

隠岐の食材を使ったメニューを中心に、地元のお客様はもちろん島外のお客様にも喜んでいただけるお料理を提供します。

さらに、テイクアウトや学生向けメニューの拡充を行い、誰でもどんな時でも気軽に利用できる店舗を運営します。

隠岐特産品の販売について

隠岐の自然の恵みを活かした特産品を加工製造し島内外に販売します。

地元農林水産事業者との連携を密にし、商品開発に取り組み隠岐ブランドの価値向上を目指します。



※イラスト・写真はイメージ

1階運営者とデザインを決定

2027年4月オープン予定 官民連携事業

1F セントラルキッチン・レストラン・食品販売（PFI事業コンセッション）

2F パブリック（子どもたち・養護児童・子育て・高齢サロン インクルーシブ）

